

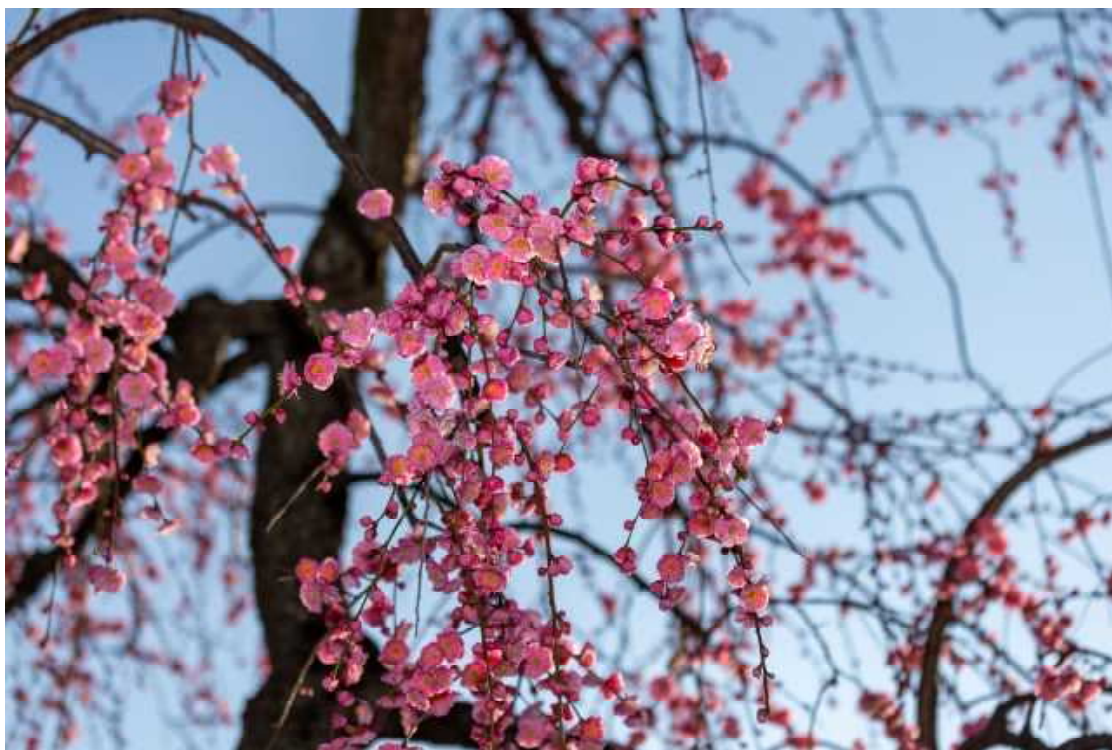


2022(仏暦2565)年 2月号 (第125号)

万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行
浄土真宗本願寺派 万行寺
住職 山崎信充
〒385-0003
長野県佐久市下平尾4 6 1 - 1
電話 0267-67-2460



■住職法話

お念仏とともに歩む人生

■浄土真宗 (新) 仏事のイロハ

■本願寺の本

正しい絶望のすすめ

■編集後記

年忌法要表

1 周忌	2021(令和 3)年	23回忌	2000(平成12)年
3 回忌	2020(令和 2)年	25回忌	1998(平成10)年
7 回忌	2016(平成28)年	27回忌	1996(平成 8)年
13回忌	2010(平成22)年	33回忌	1990(平成 2)年
17回忌	2006(平成18)年	50回忌	1973(昭和48)年

住職 法話

お念仏とともに歩む人生

今月の法語

ふみはずしましたか

気がつけばこころも

仏の道マゴゴいきました

法語は、榎本栄一さんという方の念仏のうたと称した仏さまの詩からです。「仏の道」という題で詠まれた中に出てきます。「ふみはずしませんでした」とあるように、失敗した過去の出来事といったものをお持ちの方は多いと思います。

万行寺のお役を何年も勤めてくださった、ある男性のご

門徒がおられます。奥様に先立たれてから認知症が進んだため、嫁いだ娘の世話になることになり引越され、お寺のお役は退いていただきました。今は、面倒を見切れないということで施設に入りまじうです。

この方は、代々、お念仏盛んな家に生まれられ、正信偈のお勤めが日課と仰るほどでした。そこで、お寺に関することも率先して勤めて下さいました。更なるご指導をいただきましたかったのに、残念でなりません。

最近、人伝えでお聞きした話ですが、この方は以前、事

業をされていましたが、失敗された経験があったようです。そんな大変なことも知らずに、気軽にお役をお願いしたことが、今になっては申し訳なく感謝するばかりです。

しかし、大変な中であつても、この方にはお念仏が支えだつたのでしょう。事あれば「なまんだぶ、なまんだぶ」とお念仏を称える方でした。順風満帆で事業をされていた頃も、多忙であつてもお念仏が支えであつたと思ひますし、お念仏という変わらぬものに常に支えられていたのではないのでしょうか。

あまだこうだと様々な事に悩み苦しみながら人間は生き

ていかなくはなりません。踏み外してしまいうしよもない時があつて、神も仏も無いような心持ちでしょう。しかし、少しでも乗り越えられた時に、様々な事に気づかされるものです。

仏さまのはたらきも同じです。あの時もこの時も、そして今も仏さまの道を歩ませていただいていることに気づかされるものです。



浄土真宗

⑧ 仏事のイロハ

二、葬儀を行う

―悲しみを超えて―

「臨終勤行」

最後のお勤めも阿弥陀
仏に！

亡くなられたときに行うお勤めを臨終勤行と言います。自宅にお仏壇がある場合は、お仏壇の前に遺体を安置し、お仏壇の扉を開けてお勤めします。

とぎとぎお仏壇を閉めておられるお宅がありますが、私たちがお勤めするのは、遺体に対してではありません。お仏壇の阿弥陀さまに対して、そのお心を仰ぎ聞くためにお勤めするのです。真実の浄土

を建立され、そこへ「必ず救いとる」と誓われ、亡き人との別れに嘆き悲しむ私たちには「大丈夫だよ。私がついてるから…」と励ましてくださる仏さまのお心をいただくのです。お仏壇の扉を開けてしまったのでは、阿弥陀さまの救いを無視するようなものです。

また、亡き人にとっては、人生最期のお勤めです。本人は息を引きとり声が出せないで、代わって僧侶や家族が



お勤めすることになります。

浄土真宗の教えでは、口ごも念仏の救いを信じ喜んでおれば、臨終の時の様子がどうであれ、必ず浄土に生まれさせていただけます。つまり、平生に浄土往生が決定しているわけですが、臨終に当たっても、平生のごとく阿弥陀仏の間違いのない救いを確認し味わうお勤めを行うということなのです。それこそ、臨終時のお勤めの善し悪しで往生が左右されるわけではありません。

亡き人も私たちも、行く末の足取りは覚束なく、とても自分たちの力で真実の浄土に生まれることなどできません。不安と恐怖、寂しさや悲しみに覆われ戸惑う私たちを、しっかりと抱きとり救ってくださるのが阿弥陀といわ

れる仏さまです。平生はもちろん、一連の葬儀についても、阿弥陀さまに対して礼拝しお勤めするのであって、遺体や遺影に対して行うものではありません。

もし、会館などお仏壇のない場所なら、お名号などのご本尊を奉懸してお勤めします。

なお、お釈迦さまが入滅された時の方角に合わせ、遺体は頭を北に向けますが、お仏壇との位置や部屋の都合で他方向になってもかまいません。特にこだわる必要はありません。

「浄土真宗 ⑧ 仏事のイロハ」末本弘然著／本願寺出版社刊より」

～本願寺の本～

「正しい絶望のすすめ 浄土の教えに生きる」

西原祐治 著／本願寺出版社 刊 1,320円(税込)

あなたのその悩み、解決しないと思ってませんか？「絶望」とは希望を断念すること。しかしそれは、希望への執着から自由になることでもあります。浄土真宗の教えでは、自力を捨て阿弥陀さまの他力におまかせすることが、往生の起点となります。本書に綴られた38の法語・文章を通して、「浄土の教えに生きる」ということを考えてみましょう。

それぞれが抱える悩みの解決につながるヒントが見つかるかもしれません。

[本願寺出版社ホームページより]



あなたのその悩み—
解決しないと思
ってませんか？

携帯サイト

携帯電話からも商品をご注文いただけます。

QRコードからアクセス→



親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要

立教開宗800年

Joint Celebration

850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日

2023(令和5)年

第1期 3月29日(水)～4月3日(月)
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)

第3期 4月24日(月)～4月29日(土)
第4期 5月6日(土)～5月11日(木)
第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day

親鸞聖人のご命日です ご参拝ください

浄土真宗本願寺派
龍谷山 本願寺

編集後記

ロシアがウクライナへ侵攻を始めました。理由はどうであれ、武器を取っての戦争は反対です。今後、どうなっていくのか注視していかないといけない事態です。◆『住職法話』では「ふみはずしました」が、「本願寺の本」では「絶望」といったように、私たちが避けて通りたい言葉をあえて使うことが浄土真宗の教えの根本になっています。親鸞さまも、愚かな者を意味する「愚禿」と自らを名乗られ、浄土真宗の教えを確立されました。苦悩を乗り越える術があるからでしょう。

